

モンシロチョウ

ひょうじゅん
標準 ①

モンシロチョウ

モンシロチョウは、キャベツやコマツナの葉のうらに、たまごを一つずつうみつけます。

たまごから生まれた幼虫は、さいしょは黄色ですが、葉を食べると体がみどり色になります。この幼虫を、アオムシといいます。

アオムシは、葉をもりもり食べて、何回か皮をぬいで大きくなります。

やがて、大きくなったアオムシは、さなぎになります。さなぎは何も食べず、じっとしています。

さなぎの中で体が作りかえられて、羽のあるチョウが出てきます。

① モンシロチョウは、葉のどこにたまごをうみますか。

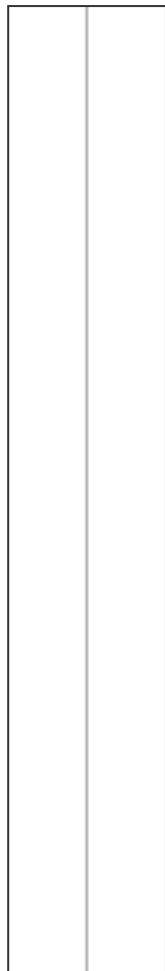
葉の



② みどり色になった幼虫を、何といますか。



③ 幼虫の体が、黄色からみどり色になるのはどうしてですか。



④ そだつじゅんに、□に1・2・3を書きましょう。



さなぎ



アオムシ



チョウ